

# 安城市内景況調査結果 (平成23年4月～6月)

## 〈大震災の影響を受け、各業種とも業況見通し悪化〉

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 74企業  
 2. 調査対象時期 平成23年4～6月期

(1)前年同期(平成22年4～6月)と比べた今期の状況  
 (2)今期と比べた来期(平成23年7～9月)の先行き見通し

### 3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	20	14	24	20	78
構成比	25.7%	17.9%	30.7%	25.7%	100%

安城市内の今期の業況判断DIは、前年同期と比較し△37.2ポイント下降した。また全業種でマイナスプラスとなった。

来期の業況判断DIについては、△15.4ポイントの下降を見込んでおり、回復に向けた先行きは東日本大震災の影響を受けてさらに不透明感のある予想である。

#### 【産業別の状況】

- ・製造業では、借入難度は落ち着いているものの、来期の収益状況が△61.5ポイントと悪化となった。
- ・小売・卸業では、来期の見通しの業況判断が、全業種で最も悪い64.3ポイントとなった。
- ・建設業では、雇用人員を除く各項目で△35ポイント以上となった。
- ・サービス業は、来期の見通しの業況判断・売上高・収益状況が△60.0ポイント以上となった。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	7～9月の 見通し
業況判断	△21.3	△37.2	△52.6
売上高	△22.7	△37.2	△52.0
売上単価	△30.0	△41.0	△50.0
資金繰り	△22.7	△25.6	△46.2
借入難度	△9.3	△16.7	△16.7
収益状況	△22.7	△35.9	△61.5
雇用人員	△2.7	△1.3	5.1

凡例▶ 30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△37.2		△15.0		△42.9		△37.5		△55.0	
	売 上 高	△37.2		△15.0		△35.7		△45.8		△50.0	
	売 上 単 価	△41.0		△25.0		△28.6		△58.3		△45.0	
	資 金 繰 り	△25.6		0.0		△28.6		△37.5		△35.0	
	借 入 難 度	△16.7		10.0		△14.3		△37.5		△20.0	
	収 益 状 況	△35.9		△25.0		△35.7		△41.7		△40.0	
	雇 用 人 員	△1.3		0.0		0.0		4.2		△10.0	
7 ～ 9 月 の 見 通 し	業 況 判 断	△52.6		△45.0		△64.3		△45.8		△60.0	
	売 上 高	△52.6		△45.0		△57.1		△50.0		△60.0	
	売 上 単 価	△50.0		△30.0		△50.0		△62.5		△55.0	
	資 金 繰 り	△46.2		△55.0		△42.9		△37.5		△50.0	
	借 入 難 度	△16.7		△5.0		△14.3		△29.2		△25.0	
	収 益 状 況	△61.5		△60.0		△78.6		△54.2		△60.0	
	雇 用 人 員	5.1		5.0		7.1		8.3		0.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。